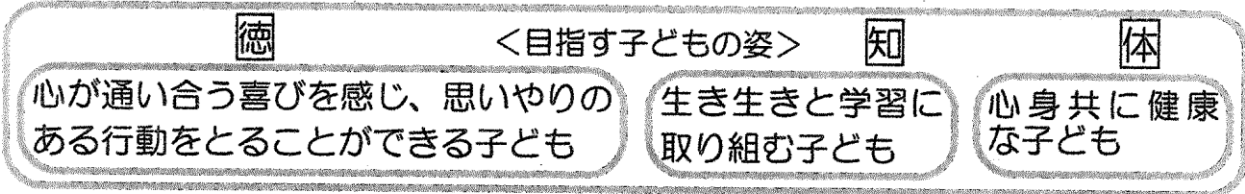


令和7年度 黒石小学校 グランドデザイン

- 名古屋市学校教育 「ナゴヤ 学びのコンパス」より
 - ・ 目指したい子どもの姿 「ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける」
 - ・ 重視したい学びの姿
「自分に合ったペースや方法で学ぶ」「多様な人と学び合う」「夢中で探究する」
- 黒石小学校の目指す姿



＜校 訓＞
A（明るく）N（なかよく）K（きまりよく）

＜目指す学校の姿＞	
子どもにとって	→ 安心・安全で楽しく、日々達成感を味わうことができる学校
保護者にとって	→ 信頼感があり、子どもを毎日安心して送り出すことができる学校
地域にとって	→ 地域の宝を育てるために連携できる存在価値のある学校
教職員にとって	→ チームワークを大切に、互いに高め合うことのできる学校

＜重点課題と方策＞

◎ 学年・学級経営の充実 ・ 力を合わせて課題を解決できる学級 ・ お互いに認め合い、助け合える学級	
◎ 生活指導の充実 ・ 一人一人に寄り添った相談体制 ◎ 心の教育の充実 ・ 自他の存在を尊重する態度の育成	◎学習指導の充実 ・ 指導の個別化・学習の個性化と多様な他者との学び合いを一体的に進める

安心・安全	信頼	連携
・ 防災教育の充実、危機管理 ・ 給食指導の充実、アレルギー対応 ・ 学校だより、HP等での情報発信	・ 保健指導の充実、緊急時対応	・ 地域との連携の充実

学校努力点主題 自分らしく学ぶ黒石っ子の育成
 ～ 自分も友達も大切に になりたい自分を目指して ～

(1) 学年・学級経営の充実について

- ① 児童一人一人がお互いの個性や人格を認め合い、助け合いながら、健全な人間関係が育つ学年や学級の集団づくりに努める。
- ② 誰もが集団でのルールを守り、平等や公平を感じる楽しい学級づくりに努める。
- ③ 家庭との情報交換を密にして、保護者との共通理解を図り、協力や信頼を得ることができるよう努める。

(2) 学習指導の充実について

- ① 毎時間の目標を明確にし、一人一人が自分なりの進度や方法で学ぶ場面と児童同士が意見交流や対話をする場面を設けることで、生き生きとした学習活動を展開することができる授業づくりに努める。
- ② 体験的活動を取り入れ、驚きや感動を与えながら、十分に学力が身に付くように努める。
- ③ 基礎・基本となる知識や技能の定着のために、必要に応じて少人数指導や個別指導など一人一人への適切な支援を行い、確実に学力の向上を図る。

(3) 生活指導の充実について

- ① 職員会議をはじめ、諸会議や打ち合わせ等で、教職員間の情報交換を密にすることにより、児童の実態把握と教職員間での共通理解を図り、個に応じた適切な指導を行うことができるように努める。
- ② 自他の命を大切にし、互いの存在を尊重する態度を育てる。
- ③ あいさつ、児童への声かけを積極的に行い、心の交流を図りながら信頼関係を築くように努める。
- ④ 一人一人の児童の特性や必要に応じた教育相談、個別指導等の支援体制を整備し、全教職員が一丸となって配慮を要する児童へのきめ細かい指導と支援の充実を図る。
- ⑤ 集団生活のルールを守り、進んで人のために働こうとする態度や意欲を高め、自分に与えられた義務や責任を果たすことができるようにする。

(4) 心の教育の充実について

- ① 教科指導、生活指導、読書活動、特別活動等、すべての教育活動を通し、自分のよさに気づき、自分を高めようとする生き方を育む。
- ② 道徳教育では、学校教育全般を通して道徳的な判断力や礼節を重んじながら他を思いやる豊かな心情の育成を図る。
- ③ 特別活動では、児童の自主性や創造性を大切にしながら実践力を養い、共に活動する楽しさや連帯感を味わわせ、集団の一員としての自覚を育てる。
- ④ 児童の思いや願いを形にできる児童会活動、委員会活動、係活動、たてわり活動、行事の充実を図り、仲間と一緒に考え、粘り強く取り組むたくましさを育てる。

(5) 地域との連携の推進について

- ① 地域の自然や特色を生かした豊かで多様な体験的な学習活動を充実させる。
- ② 児童の安全確保のために地域との連携を図り、サポート体制の充実に努める。
- ③ 地域ボランティアや学校運営サポーターの協力を得ながら、スポーツや文化活動を通しての健全育成を積極的に推進する。